

J206c      **古典新星 V339 Delphini ( Nova Del2013) の増光初期における分光観測 (I)**

田邊健茲、小木美奈子、今村和義 (岡山理科大)

いるか座新星 V339 Delphini は、2013年8月14.5843日 (UT) に板垣公一氏により6等級の明るさで発見された。我々は翌日から TPO (Tanabe Personal Observatory) の 28cmSchmidt Cassegrain 望遠鏡に low-resolution CCD 分光器 DSS-7 を取り付け、4000~8000 の optical 領域のスペクトルを取得した。

この新星は比較的緩やかな増光を示したこと、8月いっぱい好天に恵まれたことも幸いして、outburst から極大 (4.4等、VSOLJによる) に至るデータ、ならびに極大後も減光が遅かったため、極大前後の分光データを連続的に取得することができた。

得られたスペクトルを解析した結果、この新星は極大前は連続スペクトルの上に明瞭な P Cygni プロファイルを示したが、極大後は連続成分は急激に減衰し、P Cygni プロファイルも、消滅した。代わりに強いバルマー線とともに FeII の輝線も現れたことから、この新星は FeII 新星に分類されることが考えられる。